

# 先進事例 紹介

## お菓子を使っておかしく楽しく住宅防火「<sup>住</sup>警<sup>器</sup>ケーキ」誕生

愛知県 豊田市消防本部

### 1 はじめに

豊田市消防本部（以下「当本部」という。）は、民間企業との共働により、住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）の交換について、お菓子を使っておかしく（楽しく）紹介する事業に取り組みました。これは、企業が商品開発と販売を行い、当本部が住警器啓発キャラクターの使用許可、販売場所の提供、広報を実施した共働事業です。民間企業が販売する物品のパッケージに、当本部啓発キャラクターを使用したのは今回が初めてです。

### 2 経緯

豊田市火災予防条例による住警器設置義務化10年を機に、どうしたら効果的に住警器の交換を啓発できるか検討したところ、「住警器(じゅうけいき)」が「ケーキ」を連想する語呂であることに着目しました。誰もが親しみを持つことのできるお菓子なら、啓発効果も得られやすいのではないかと考えました。

さらに、より効果的な啓発に発展させるため、火災予防の啓発に対して、実績のある地域から、火災予防活動に理解ある人へ依頼したいと考えました。そこで、豊田市足助地区で和菓子店を経営する消防団員へ提案したところ、「お菓子でおかしく（楽しく）火災予防を呼び掛けてみたい」と快く引き受けてもらえました。

その矢先、平成28年12月末、新潟県糸魚川市で大規模火災発生。人々へ火災の脅威を伝える衝撃的なニュースでした。この大規模火災は、同じ住宅密集地域である足助地区の住民にとっては決して他人ごとではなく、先人から受け継いだ財産を守るべく、過去の火災で多くの家屋を消失した足助地区の消防団員が「<sup>住</sup>警<sup>器</sup>ケーキ」の開発に立ち上がったのです。

商品を開発したのは、豊田市足助町にある和菓子店「加東家」3代目店主の加藤泰幸さん。和菓子店を経営しながら、豊田市消防団第7方面隊第2分団長として、豊田市足助重伝建地区防災計画策定委員を務めるなど、地域の防火防災活動に取り組んでいます。

### 3 重伝建の防火は10年で交換の住警器から

豊田市足助地区には、国の重要伝統的建造物群保存地区（以下「重伝建」という。）に選定された古い町並みがあります。足助の町並みは、山と川に囲まれた傾斜地に木造建築物が密集して建ち並んでいるのが特徴ですが、安永4（1775）年の大火によって多くの家屋が焼失した歴史があり、現存する旧家はこの大火の後に建てられたものです。大火の教訓は、屋根を瓦にすることや、2階部分の壁を漆喰で塗籠にするなど、現在に残る美しい町並みの特徴を作り上げました。平成23年には愛知県初の重伝建地区に選定されるまでに至り、その後も、紅葉の景勝地・香嵐溪と共に地元住民の手で美しい景観が守られ、住民の熱心なまちづくりへの取組が展開されています。

また、町並みの所々には今も大火の影響を感じられるものが残っています。大火後の寛政11（1799）年に建立された常夜灯は、火災防止の神として知られる秋葉山大権現を信仰する秋葉講の人々が建てたもので、足助商工会軒下の波模様は、水で火に対抗するとの意味を持ち二度と火事を起こさないという願いが現れているそうです。



全国から観光客が集まる「香嵐溪」



重伝建の「足助の町並み」

## 4 商品販売概要

「ジューケーキ」は、カップケーキのスポンジの上部にホワイトチョコレートをかぶせ、白を基調とした住警器をモチーフにしています。パッケージシールには、当本部住警器マスコットキャラクターの「モクモクピートくん」を掲載し、住警器の交換を促しています。値段は1個140円（税込）です。

販売日は、平成29年2月11日（土）、豊田市消防音楽隊40周年記念コンサートの開催に合わせました。当日は、コンサート会場の豊田市コンサートホールロビーにて、限定500個を販売したところ、開始から30分で完売するほどの盛況ぶりでした。販売者であり消防団員でもある加藤さんは「このケーキを食べたら、住警器の交換も忘れずに」と呼び掛けていました。

同時に、購入者全員には当本部作成の「住警器10年たったらとりかえるちらし」を配布し交換を促しました。また、先着100人限定で、消防団員から豊田市消防団マスコットキャラクター「たすけくん」がデザインされたオリジナル缶バッジが配布され、消防団のPRも行うことができました。

そして、売場付近には、住警器展示パネルの設置や消防団員募集ポスターを掲示するほか、ジューケーキと足助の町並みの関係を紹介するパネルや、足助地区の観光パンフレットなども設置して会場を装飾しました。

今後、「ジューケーキ」は当本部主催イベントにて販売し、引き続き住警器の交換啓発を行う予定です。



パッケージにモクモクピートくんを使用し10年で交換を促します。



住警器をモチーフにしたジューケーキ



音楽隊40周年コンサート会場での販売



お宅の住警器は大丈夫？ ジューケーキを食べたら交換を忘れずに



豊田市消防団をPRする団員

## 5 広報

足助の町並みの歴史あつてこそその啓発活動であることから、足助観光協会や足助商工会など地元関係者にも協力要請をしたところ、ホームページでの宣伝やちらし配布によりPR活動をバックアップしていただきました。

また、報道機関への情報提供を積極的に行った結果、中日新聞や新三河タイムスなど地元新聞社の記事として取り上げてもらうことができました。住警器の交換について効果的に発信できたことで、市民の防火意識の向上を図ることができました。

## 6 今後の展開

豊田市は、消防団、幼年・少年・女性消防クラブのほか、今年6月には新たに高校生消防クラブが発足し、地域の防火防災をリードする人材が多いまちです。郷土愛は地域の災害対応力を強化します。率先して地元を守ろうとする人が、地域のヒーローとしてより一層輝きを増し、住民が協力して積極的に災害に強いまちづくりへ取り組めるよう、当本部は今後も市民や企業との共働によりユニークな火災予防を推進していきます。